



事務局より自然再生関連行事におけるアンケート共通項目について説明がなされた。

- これまで再生普及小委員会で行ってきたフィールドワークショップ等の際に、参加者にアンケートの記入をお願いしてきた。
- 今後は共通様式を使用し、アンケートの集計・分析の統一化を行うことにより、より満足度の高い行事とし、また効果的な参加者募集方法の検討にも役立つものと期待している。
- 各小委員会事務局で実施するイベント以外でも、この内容でアンケートを実施して、結果を提供いただけるとありがたい。



事務局より今後の予定について報告が行われた。

今後の予定

- フィールドワークショップを7月26日に開催予定
- 学校支援ワーキングを8月に開催予定
- 次回再生普及小委員会は12月に開催予定

第27回 再生普及小委員会 出席者名簿 (敬称略、五十音順)

個人[4名]

- 君塚 孝一 ●貞國 利夫 ●清水 信彦 ●高橋 忠一

関係行政機関[6機関]

- 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 [治水課長/渡邊 和好]
- 環境省 釧路自然環境事務所 [所長/安田 直人]
- 林野庁 北海道森林管理局 [釧路湿原森林ふれあい推進センター 所長/志村 賢二]
- 北海道 釧路総合振興局 [環境生活課長/八川 真幸]
- 釧路市 [環境保全課長補佐/森 昌弘]
- 釧路町 [商工観光係主査/大澤 直樹]

オブザーバー[1団体]

- 釧路商工会議所 [振興課長/斎藤 大]

団体[10団体]

- 釧路国際ウェットランドセンター [事務局長/菊地 義勝]
- 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会 [芳賀 孝朋]
- 釧路シャケの会 [会長/小杉 和寛]
- 釧路武佐の森の会 [会長/大西 英一]
- 公益財団法人北海道環境財団 [事務局次長/久保田 学]
- こどもエコクラブくしろ [近藤 一燈美]
- 特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所 [渡會 敏明]
- 特定非営利活動法人くしろ・わっと [事務局長/成ヶ澤 茂]
- 特定非営利活動法人タンチョウ保護研究グループ [井上 雅子]
- 特定非営利活動法人 鶴居タンチョウ元亀村 [理事/佐藤 吉人]

資料の公開方法

委員会で使用した資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページにて公開しています。

http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/kasen/kushiro_wetland/index.html

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

[TEL]0154-23-1353 [FAX]0154-24-6839

ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています。

電話・FAXにて事務局まで御連絡下さい。

釧路湿原自然再生協議会

再生普及小委員会 ニュースレター

編集・発行：釧路湿原自然再生協議会 運営事務局

REGENERATION SPREAD SUB COMMITTEE NEWS LETTER

Vol. 27

発行日：平成28年12月9日

平成28年6月23日(木)「第27回 再生普及小委員会」が釧路市観光国際交流センター 3階 研修室で開催されました。

開催概要

「第27回再生普及小委員会」が平成28年6月23日(木)釧路市観光国際交流センター 3階 研修室で開催されました。小委員会には個人4名、団体10団体、オブザーバー1団体、関係行政機関6機関が出席しました。今回は、再生普及小委員会の活動報告、自然再生の普及のためのパンフレット作成及び自然再生関連行事におけるアンケート共通項目について話し合わせ、活発な意見の交換が行われました。



「ハンノキは生きている!」(第16回フィールドワークショップ) 土砂の堆積とハンノキの不思議な関係を探ってみよう～雪裡川～ 2016年2月3日

Discussion about Regeneration of Kushiro Marsh



このようなことが話し合われました。

再生普及小委員会の活動報告



事務局より再生普及小委員会の活動報告が行われ、再生普及行動計画オフィスの取組みや再生普及推進のための連携チームの活動、湿原学習のための学習支援ワーキンググループの取組みについて報告がなされた。

再生普及行動計画オフィス取組み報告について

①行動計画の進行管理、活動支援

- 「ワンダグリンド・プロジェクト2015」参加者への活動支援
- 「ワンダグリンド・プロジェクト2015」報告書作成
- 「ワンダグリンド・プロジェクト2016」募集
- フィールドワークショップの実施(2016年2月3日) 第16回「ハンノキは生きている!」土砂の堆積とハンノキの不思議な関係を探ってみよう～雪裡川～



釧路湿原自然再生事業紹介パネル展及びワンダグリンド活動紹介 2016年2月1日～2月28日

②情報発信・普及活動の拡充

- WEBサイトの運営
- メールニュースの配信、掲示
- イベント出展による情報発信等
- 現場見学会等の市民参加イベントのとりまとめ



「釧路湿原について学ぶ自然文化講座」 2016年2月7日

REGENERATION SPREAD SUB COMMITTEE NEWS LETTER



「ワンダグリンド・プロジェクト2016」
応募状況

・新規1団体、総数60団体(個人)、81取組み、
広報支援施設は9施設となった。

詳しくはワンダグリンドで検索!

ワンダグリンド

検索



「湿原学習のための学校支援WG」取組み報告

① 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

・学校現場で活用可能な学習素材をとりまとめた情報発信を行い、効果的な支援方策を検討。

② 自然再生の学校教育への活用促進

・自然再生事業地を学習素材とした教員研修やモデル授業の検討。

③ 学校教育の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

・教育委員会や各研究部会等と連携し、フィールドを活用した教員研修の企画、実施。
・湿原に関する各種情報、自然再生への参加機会等(現地見学会等)の情報を教員に届ける仕組みの検討



湿原学習のための
学校支援
ワーキンググループの
案内

★再生普及行動計画オフィス ★湿原学習のための学習支援WG の取り組みは
ホームページで詳しく報告されています。

詳しくはこちら <http://heco-spc.or.jp/kushiro/preservation/activity/>

自然再生の普及のための
パンフレット作成について

事務局より自然再生の普及のためのパンフレット作成について説明がなされた。その後、委員による意見交換と検討が行われた。

■自然再生の普及のためのパンフレット作成について

●背景と目的

- ・釧路湿原自然再生事業の全体像がわかる資料は、協議会発足時点で作成されて以降未更新。
- ・協議会発足から10年が経過し、事業の拡大や成果が見られていることから、更新された内容のパンフレットの作成が必要。
- ・広く一般に配布するものではなく、各小委員会で現地見学会、地元説明の機会等で説明者が使用することを想定。
- ・外国語対応は今後検討。



パンフレットの原案についてこのようなことが話し合われました。(詳しくはホームページをご覧ください)

- パンフレットはパネル程度のボリュームで作成すれば良いのではないか。
- 資料の作りが小学生や中学生にとっては解りづらいものになってしまうと感じる。資料作成にあたっては、幅広い方々に理解されるような資料にしていかなければいけない。
- ある程度科学的な内容も含めたいという考えもあり、そのあたりのバランスについてもご意見をいただきたい。
- 専門的立場からと中学生程度に対する解りやすさを奇跡的に融合することができないか。
- 色がどぎつくて見難い。
- 文字は最低限である方が見てもらえると思う。「湿原と暮らす未来の子どもたちのために」がイメージできる画像のような物があればわかりやすい。
- 全体に統一感が無い。ターゲットが曖昧であり、学校教育なのか専門的なものなのか、小学生と中学生では全く違う。
- 読む人が、「自然、湿原を守るの大切なんだ」、「このままだと湿原を現状のまま残すことはできないんだ」というような緊張感のあったものの方が良い。
- 「初心者はこちら」、「専門的に勉強したい人はここを読むように、色分けをするなどで読む側が選択して読める形にすると良い。目次をつけ、最初に何処を読めば良いのかをわかりやすくする。
- 各小委員会が、独特の書き方や資料の扱い方をしているということはあるかもしれない。「中学生が理解できるように」、「夢を持ったものに」という立場ではなく、専門的で正確な記録という資料が多い。何とかできないものかと思う。

委員長 委員 事務局

■今後の作業

2016年 8月末

各小委事務局

- ・文章の簡略化
- ・図表データの更新
- ・高画質写真、図表の提供

2016年 12月末(予定)

各小委事務局
普及小委事務局

- ・デザイン案の作成
- ・情報量、内容等の調整

年度内(予定)

環境省

- ・パンフレット原稿作成、印刷